

平成23年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・病害虫部会現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海病害虫部会長
中央農業総合研究センター 病害虫研究領域長
本多 健一郎

1. 趣旨

関東東海地域では野菜等で、一部の病害虫が多発生し、その生産を阻害しているが、この多発生の要因のひとつに農薬の多用や連作等による圃場の生物多様性の欠如が考えられている。そこで、本研究会では圃場での生物多様性の評価等を基幹にしたIPM(総合的病害虫管理)技術開発の現状と問題点等を検討するとともに、技術導入をはかっている圃場等を視察する。

2. 開催日時 平成23年 9月5日(月) 13:15～6日(火) 12:30

3. 開催場所

研究会(1日目) ホテルクラウンパレス浜松
(浜松市中区板屋町110-17 JR浜松駅より徒歩3分)
現地視察(2日目) 1) シロネギにおけるIPM圃場
(浜松市南区倉松町)
2) ガーベラにおけるIPM圃場(浜松市西区深萩町)

4. 検討事項

「圃場の生物多様性とIPM」

- 1) 「土壌圏の複雑性を受け入れる～土壌微生物生態系の非還元論的評価～」
中央農業総合研究センター 情報利用研究領域 横山 和成
- 2) 「土壌中の生物性解析によるセルリー萎黄病発病危険度予測の可能性」
長野県野菜花き試験場 環境部 藤永 真史
- 3) 「DNAマーカーによるカブリダニとヒメハナカメムシ類の多様性評価と移動分散能力の推定」
中央農業総合研究センター 病害虫研究領域 日本 典秀
- 4) 「生物多様性の生態系サービスの利用(シロネギにおけるネギアザミウマ防除の可能性)」
静岡県農林技術研究所 植物保護科 増井 伸一
- 5) 「ガーベラ栽培におけるカブリダニ製剤を活用したIPM」
静岡県病害虫防除所 片山 晴喜
- 6) 総合討論

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政部局及び試験研究機関、農林水産省生産局・消費安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、民間研究機関、大学、農業・食品産業総合技術研究機構作物研究所、野菜茶業研究所、花き研究所、農業環境技術研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が認める者

6. 連絡先

会議関係：中央農業総合研究センター 病害虫研究領域
小泉 信三 TEL 029-838-8940 FAX 029-838-8837
参加申込み：静岡県農林技術研究所 植物保護科
影山 智津子 TEL 0538-36-1556 FAX 0538-37-8466

7. その他 参加、会場案内等詳細については静岡県農林技術研究所から別途連絡する。
また、中央農業総合研究センターホームページの「研究交流の広場」
<http://narc.naro.affrc.go.jp/chousei/kouryuka/index.htm>からも詳細を得ることができます。